



Nabtesco
moving it. stopping it.

第13期 中間株主通信

2015年4月1日から2015年9月30日まで

INDEX

- 01 トップメッセージ
- 04 当社海外事業のご紹介
- 05 セグメント情報
- 07 連結決算情報
- 09 トピックス
- 10 会社情報 / 株式の状況



「Enjoy the Challenge!」を合言葉に 変化に挑み、長期ビジョンの実現を目指します。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。
ここに当社第13期(2015年12月期)第2四半期連結累計期間の営業状況をご報告申し上げるとともに、今後の事業展開についてご説明させていただきます。

代表取締役社長 **小谷和朗**

Q 当第2四半期連結累計期間の業績について
ご説明願います。

機械需要の低迷が長引いているため、売上・利益ともに期初の計画を大幅に下回っています。

A 精密減速機や自動ドアの好調が油圧機器の落ち込みをカバーし、期初の利益目標をクリアしました。

受注高は全体で1,301億5千2百万円を獲得し、連結業績は売上高1,287億1千7百万円、営業利益103億9千2百万円、経常利益110億9千7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益79億4千7百万円となりました。当期は決算期変更の経過期間となるため、前年同期との単純比較はできませんが、期初の計画に対しては、売上高が62億円の未達となりながらも、利益面はこれをクリアしました。

当第2四半期連結累計期間は、産業用ロボット向けや工作機械・FA向けの需要拡大を受けた精密減速機が好調を維持し、航空機器、自動ドアも売上を順調に伸ばすことができました。その一方で、鉄道車両用機器や船用機器、油圧機器につきましては、中国市場の悪化による影響を受け、低調に推移しました。特に油圧機器は、中国における建設

売上高の状況を事業別に見ると、期初の計画に対して、精密機器事業と産業用機器事業は若干の未達にとどまりましたが、輸送用機器事業が21億円の未達、航空・油圧機器事業が30億円の未達となりました。

「中期経営計画基本方針」

「Think Global! Act Local! For the Second Decade」

～ Challenge & Creation ～

顧客満足の限りなき追求 海外展開の一層の推進 新技術開発の探究とオープンイノベーション

グローバル生産体制の構築 株主価値、企業価値の向上

同様に営業利益についても、航空・油圧機器事業における中国向け油圧機器の損失が予想以上に拡大し、輸送用機器事業も期初の計画を下回りましたが、精密機器事業と産業用機器事業の増益が全体を下支えしました。

Q 長期ビジョンの達成と持続的成長の実現に向けて、どのような動きが進んでいますか？

A 次世代航空機向けに岐阜工場の生産設備を強化。オープンイノベーションによる研究開発も推進中です。

私たちは、2020年度における当社グループの目指す姿をイメージした長期ビジョンを策定し、連結売上高4,000億円をはじめとする成長目標を掲げています。これを達成し、持続的成長を実現していくために、当第2四半期連結累計期間は二つの新展開を打ち出しました。

その一つは、航空機器事業の生産増強です。同部門では、岐阜工場で航空機に搭載される各種装備品を生産しており、2013年に受注したボーイング「737MAX」向けおよび三菱航空機「MRJ」向けの製品が2017年より、ボーイン

グ「777X」向けの製品が2020年より納入を開始する予定です。これらに対応する生産能力を確保すべく、岐阜工場内に生産設備の新設を決定し、2016年秋の稼働に向けて着工しました。

具体的には、飛行制御システムの基幹部品である電気油圧サーボバルブ(EHSV)の生産ラインを整備するとともに、これまで油圧機器の生産を行う垂井工場内に有していた表面処理工程についても岐阜工場内に移転させ、一貫生産体制を構築する計画です。またこの新工場は、生産単位当たり従来比で約40%以上のエネルギーセーブが可能で、CO₂の排出量とエネルギー使用量の大幅な削減を目指した環境配慮型工場となります。

民間航空機向け製品の売上高は、ここに挙げた次世代航空機のアフターマーケット需要も含め、2020年代初頭には倍増が見込まれ、当社グループの持続的成長に大きく貢献するものと期待しています。

もう一つの新たな動きは、2015年7月に行った「ナブテスコ・デジタル・エンジニアリング・センター(NDEC)」の京都リサーチパークへの移転です。NDECは、金属系3Dプリンターなど最先端の製品開発インフラを導入した、オープンイノベーションによる研究設備です。

目標とする経営指標

当社グループは2014年5月に発表した中期経営計画において2014年度から2016年度の中期経営目標を、以下のとおり設定いたしました。

1 さらなる事業規模拡大・収益性の追求

- 2016年度の売上高目標 **2,800**億円±5%
営業利益目標 **340**億円(営業利益率12%)
当期純利益目標 **240**億円
- 1株当たり当期純利益 **190**円

2 資産・資本効率(ROA、ROE)を意識した経営の推進

- 2017年3月末 ROA **7.5%**、ROE **15.0%**の達成

3 成長性を考慮した企業収益の配分

- 戦略的な成長投資、財務健全性の確保、株主還元のパラメータを考慮した適正配分
- 3か年の累計設備投資額 **450**億円
 - 3か年の累計研究開発費 **230**億円
 - 安定的配当の継続(配当性向 **30%**以上、**40%**を超えない限り減配せず)

トップメッセージ

当社グループは、このNDECを学際的都市である京都に移し、企業や大学との連携を促進することで、多様な技術の採り込みと開発スピードの向上、グローバルな技術人材の育成を図り、新製品・新事業の創出を推進していきます。もちろん短期的に結果が出せる取り組みではありませんが、長期的視点では必ず当社グループの成長・発展につながるものと信じています。

Q 通期の見通しについてお聞かせください。

A 中国建機市場の低迷による航空・油圧機器事業等への影響を踏まえ、通期業績予想を下方修正しました。

中国市場の悪化による当社グループ事業への影響は当面続くものと思われ、特に航空・油圧機器事業は、通期業績においても大幅な減収と営業損失の計上を余儀なくされる見通しです。また輸送用機器事業は、中国高速鉄道案件の延期が響いており、売上・利益ともに期初の予想数値を下回ると見えています。

以上を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、期初の計画値を下方修正し、売上高1,910億円、営業利益162億円、経常利益171億円、親会社株主に帰属する当期純利益114億円としました。9ヵ月の変則決算を12ヵ月に置き換えた参考値ベースでは、増収・増益を維持する見込みです。

3か年中期経営計画の2年度目として、私たちはここに挙げた業績数値を確実にクリアし、次の成長に向けた足掛かりを築いていきます。

中長期的な会社の経営戦略

- 1 「Market Creation」による既存事業の伸長と新事業の創出
- 2 「Technology Innovation」による開発推進とグローバル生産体制の構築
- 3 「Financial Strategy」による戦略投資を支えるキャッシュインカムの創出と安定的な還元

Q 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

A リスクへ適切な対処とともに、飛躍に向けて積極的にチャレンジし、持続的な成長を目指します。

今回の中間配当は、EPS(1株当たり当期純利益)の継続的な拡大による増配を目指す利益還元方針に基づき、予定通り1株当たり22円とさせていただきます。期末配当についても同22円を予定し、年間配当額は同44円(前期同額)となる見込みです。

また当社は、機動的な利益還元を実施することで1株当たりの株主価値を高めるとともに、資本効率の向上を図るため、2015年5月28日開催の取締役会において自己株式の取得および消却について決議し、3,132,000株を取得しました。なお今回取得した自己株式は、2015年12月28日に消却する予定です。

激変する経営環境の中、今後も当社グループが成長し続けていくためには、さまざまなリスクへ適切に対処するとともに、飛躍に向けて積極的にチャレンジしていくことが必要です。2020年度を見据えた長期ビジョンには、そうした想いを込めて「Enjoy the Challenge!」という合言葉を掲げました。引き続きグループ全社員が一丸となって、3か年中期経営計画の目標達成を目指し、長期ビジョン実現への道筋をつけてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、これからも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社海外事業のご紹介 vol.1

当社は、世界のお客さまに価値ある製品を提供するため、グローバル展開をしてきました。今回の株主通信から、海外の事業所について地域ごとにご紹介します。

タイ王国

Nabtesco Automotive Products (Thailand) Co., Ltd.



工場外観

2014年11月新工場開所式

当社は2004年2月、商用車関連製品を製造・販売する会社として、タイに海外拠点を設立しました。

タイの自動車生産台数は2000年以降着実に伸ばしており、2013年には246万台と、世界第9位の生産大国に成長しました。

その中でサプライチェーンの一翼を担い、トラック・バス向けを中心に、ブレーキ制御装置など自動車の安全に大きく関わる重要な製品を製造・販売しています。

今後も高い技術力・信頼性で、お客さまに満足していただける企業として全社一丸で取り組んでいきます。

会社概要

事業内容 自動車関連機器の製造・販売。
所在地 Bangsaothong, Samutprakarn, Thailand

Nabtesco Power Control (Thailand) Co., Ltd.



当社従業員

製品ラインナップ

当社は2008年2月、タイのアマタナコン工業団地に設立以来、主に建設現場などで活躍するパワーショベルの走行モータや旋回モータを製造・販売してきました。

現在ASEANの人口は約6億人と一大経済圏を形成し、旺盛なインフラ需要も見込まれます。

今後も「東南アジア・インドの発展の一翼を担う」という方針のもと、製品ラインナップの拡充、インド等への拡販を推進し、地域の発展に寄与していきます。

会社概要

事業内容 東南アジア向けを中心とした建設機械用油圧機器の製造・販売。
所在地 Amatanakorn Industrial Estate, Chonburi, Thailand

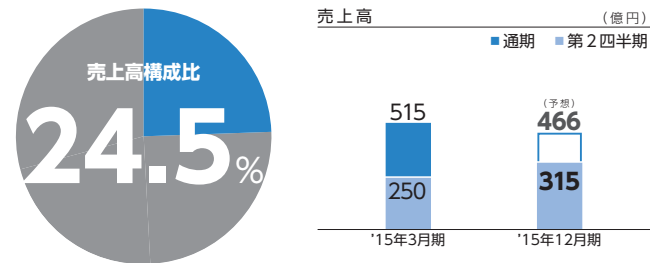
精密減速機、民間航空機、自動ドアが計画に向けて順調な推移の一方、中国の市況の低迷、需要の低下により計画を下回る結果となりました。

(注) 当社は、当期より決算日を3月31日から12月31日へ変更いたしました。経過期間となる当第2四半期につきましては、当社および国内連結子会社は6ヵ月間(2015年4月1日～9月30日)、海外連結子会社は9ヵ月間(2015年1月1日～2015年9月30日)を連結対象期間としております。また業績予想の12月期として示す数値は、当社および国内連結子会社は9ヵ月間(2015年4月1日～12月31日)、海外連結子会社は12ヵ月間(2015年1月1日～2015年12月31日)を連結対象期間とした予想数値となります。

精密機器事業



事業内容 精密減速機、三次元光造形装置、真空装置、太陽追尾駆動装置、風力発電用駆動装置など



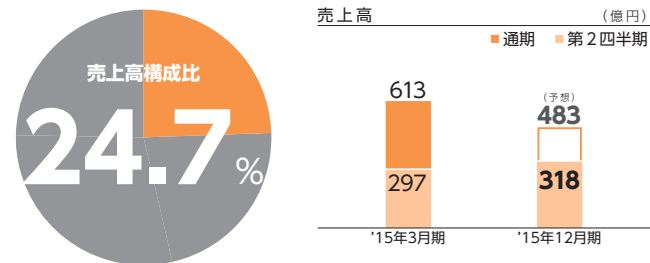
精密機器事業の受注高は340億円、売上高は315億円、営業利益は48億円となりました。

精密減速機は、好調な産業用ロボット、工作機械およびその他FA向けの需要を受け、売上計画に対して順調に推移しています。

輸送用機器事業



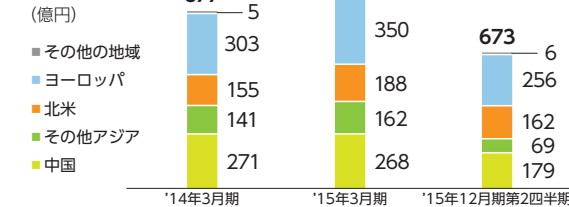
事業内容 鉄道車両用ブレーキ・ドア装置、船用エンジン制御装置、商用車用エアブレーキ装置など



輸送用機器事業の受注高は296億円、売上高は318億円、営業利益は53億円となりました。

鉄道車両用機器では、新車需要に加え補修部品ビジネスの拡大が見られたものの、中国高速鉄道案件の計画延期の影響を受けました。商用車用機器では、国内トラック需要は好調である一方、ASEAN向け需要の低下が持続しました。船用機器では、中国市況の悪化により新造船の手元工事量の一部にキャンセルが見受けられました。以上により、各事業の売上高は計画に対してやや低調に推移しています。

海外売上高



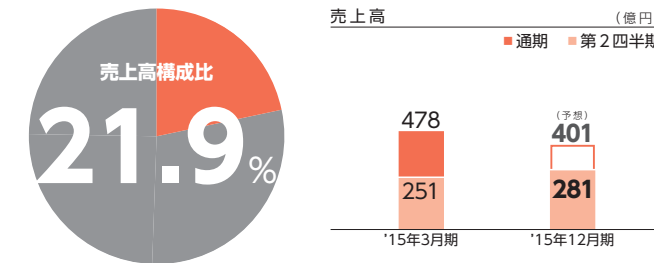
米国での底堅い成長に加え、欧州では緩やかな回復基調が継続しました。一方でアジアは、中国の成長が一段と鈍化し、航空・油圧機器事業における大幅な建設機械需要減の影響や、輸送用機器事業における中国高速鉄道案件の延期等により、中国向け販売の落ち込みが顕著となりました。東南アジア諸国でも停滞の持続により事業環境が悪化しました。

また、決算期変更に伴い、当社および国内連結子会社は6ヵ月、海外連結子会社は9ヵ月を連結対象期間としているため、海外売上高比率が高まっています。

航空・油圧機器事業



事業内容 航空機用機器、建設機械用走行モーターなど



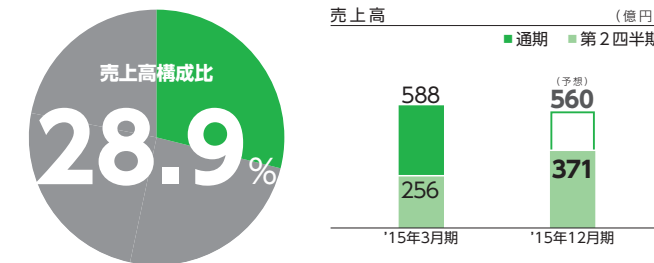
航空・油圧機器事業の受注高は279億円、売上高は281億円、営業損失は12億円となりました。

航空機器は、堅調な民間航空機および防衛省向け需要を受け、売上高は計画に対して順調に推移しています。油圧機器は、中国における建設機械需要減の影響を受け、売上高は計画を大幅に下回り推移しています。

産業用機器事業



事業内容 建物用自動ドア、鉄道用プラットホームドア、包装機、専用工作機械など

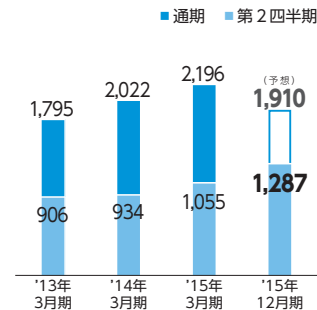


産業用機器事業の受注高は384億円、売上高は371億円、営業利益は15億円となりました。

自動ドアは、国内外市場ともに、売上高は計画に対して順調に推移しています。包装機は、一部案件の期ずれにより売上高は計画に対してやや低調に推移しています。

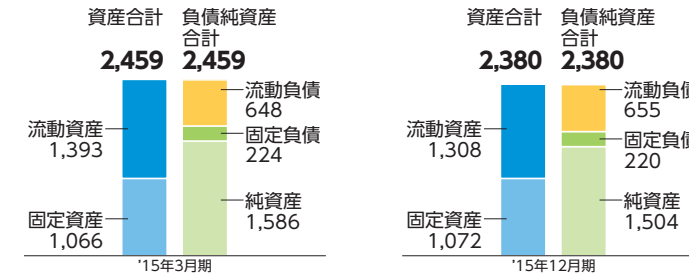
(注) 当社は、当期より決算日を3月31日から12月31日へ変更いたしました。
 経過期間となる当第2四半期につきましては、当社および国内連結子会社は6ヵ月間(2015年4月1日～9月30日)、海外連結子会社は9ヵ月間(2015年1月1日～2015年9月30日)を連結対象期間としております。
 また業績予想の12月期として示す数値は、当社および国内連結子会社は9ヵ月間(2015年4月1日～12月31日)、海外連結子会社は12ヵ月間(2015年1月1日～2015年12月31日)を連結対象期間とした予想数値となります。

売上高 (億円)



国内市場は堅調に推移したものの、中国市場の低迷などにより航空・油圧機器事業、輸送用機器事業が影響を受けました。

財政状態 (億円)

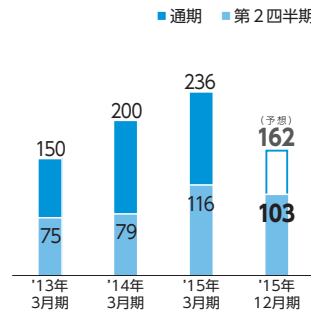


資産は、主に流動資産において棚卸資産およびのれんが増加したものの現金及び預金などの減少により、減少しました。

負債は、主に支払手形および買掛金の増加により、増加しました。

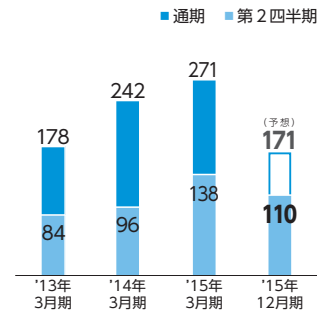
純資産は、主に自己株式の増加および配当による利益剰余金の減少により、減少しました。

営業利益 (億円)



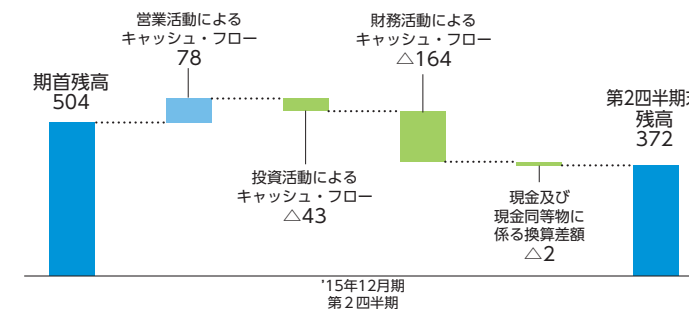
売上原価が943億円、販売費及び一般管理費が240億円となったことから、営業利益は103億円となりました。

経常利益 (億円)



営業外収益が持分法による投資利益などにより16億円となり、営業外費用が為替差損などにより9億円となったことから、経常利益は110億円となりました。

キャッシュ・フローの状況 (億円)



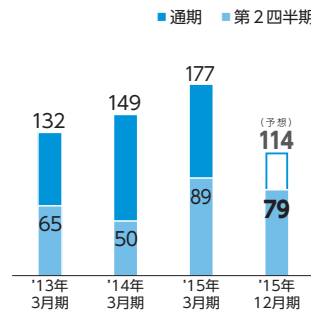
現金及び現金同等物は、営業活動により獲得した資金を主に自己株式の取得、短期借入金の返済、設備投資、配当金の支払に充てた結果、減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益および減価償却費により、資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得および子会社株式の取得により、資金の減少となりました。

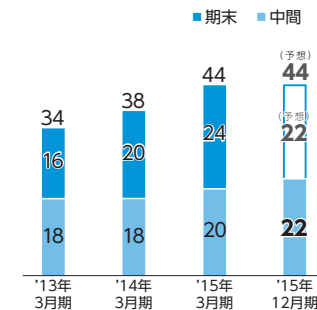
財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得、短期借入金の返済および配当金の支払により、資金の減少となりました。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



特別利益が投資有価証券売却益などにより14億円となり、特別損失が6千7百万円、非支配株主に帰属する四半期純損失が3億円となったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は79億円となりました。

配当 (円)



年間配当金は、前期と同額の44円を予定しています。

設備投資額・研究開発費・減価償却費 (億円)

| | 2013年3月期 | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2015年12月期(見直し) | 2014年～2016年3ヵ年累計額(中期計画) |
|-------|----------|----------|----------|----------------|-------------------------|
| 設備投資額 | 101 | 67 | 69 | 140 | 450 |
| 研究開発費 | 55 | 64 | 68 | 65 | 230 |
| 減価償却費 | 79 | 76 | 62 | 67 | 230 |

TOPICS
4月

■シーメンス社よりフランス「レンヌ地下鉄」B路線向け乗客用ドアを受注

当社グループのNabtesco Oclap S.r.lは、シーメンス社よりフランス「レンヌ地下鉄」B路線向け、NEOVAL車両の乗客用ドアを受注しました。今回の受注を通じて、今後シーメンス社との協力関係を一層深化させていきます。

TOPICS
6月

■トランスデューサ型真空計用電源表示器「DGC-A12」発売

当社グループの大亜真空株式会社は、トランスデューサ型真空計用電源表示器『DGC-A12』を開発し、発売しました。測定原理の違うトランスデューサ型真空計5機種(自社製品)全てが接続可能となり、お客さまの使用環境に合わせて柔軟に対応できる製品となっています。



「DGC-A12」

センター内にある
金属積層造形装置

■京都に「ナブテスコ・デジタル・エンジニアリング・センター」を移転

製品開発プロセスの革新を加速するため、「ナブテスコ・デジタル・エンジニアリング・センター」を京都リサーチパーク(京都府京都市下京区)内に移転しました。金属系3Dプリンターを導入しており、開発設計プロセスにおけるCAM*、樹脂による製品の原理試作、金属による量産設計前試作までの開発期間を大幅に短縮できる最先端インフラが整いました。

* コンピュータ支援製造 (Computer Aided Manufacturing)

TOPICS
7月

■コンパクト・アクチュエーター「AFシリーズ」発売

中国を中心とした新興国の自動化・省力化ニーズに応えるため、『精密減速機RV』をベースに、サーボモータを直結し、装置のコンパクト化・組立工数削減・品質向上に貢献できる高精度・高剛性アクチュエーター「AFシリーズ」を発売しました。



「AFシリーズ」



会社概要 (2015年9月30日現在)

| | | | |
|-----|-------------------|-------|--|
| 会社名 | ナブテスコ株式会社 | 従業員数 | 単体 2,151人 連結 5,828人 |
| 設立 | 2003年9月29日 | 連結子会社 | 国内12社(他持分法適用会社6社) 海外40社(他持分法適用会社4社) |
| 所在地 | 東京都千代田区平河町二丁目7番9号 | | |
| 資本金 | 100億円 | | |

役員 (2015年9月30日現在)

取締役会

| | |
|---------|------|
| 代表取締役社長 | 小谷和朗 |
| 代表取締役 | 三代洋右 |
| 代表取締役 | 長田信隆 |
| 代表取締役 | 寺本克弘 |
| 取締役 | 坂井宏彰 |
| 取締役 | 吉川敏夫 |
| 取締役 | 橋本悟郎 |
| 取締役 | 藤原大裕 |
| 取締役 | 内田憲男 |

監査役会

| | |
|-------|-----------|
| 監査役 | 大西隆之 |
| 社外監査役 | 石丸哲也(非常勤) |
| 社外監査役 | 三谷紘(非常勤) |
| 社外監査役 | 片山久郎(非常勤) |

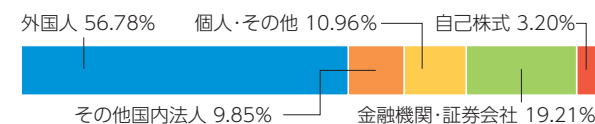
業務執行体制

| | |
|---------|--|
| 最高経営責任者 | 小谷和朗 |
| 副社長執行役員 | 三代洋右(住環境カンパニー社長) |
| 専務執行役員 | 長田信隆(航空宇宙カンパニー社長) |
| 常務執行役員 | 寺本克弘(企画本部長) |
| 常務執行役員 | 坂井宏彰(パワーコントロールカンパニー社長) |
| 常務執行役員 | 吉川敏夫(技術本部長) |
| 常務執行役員 | 十萬真司(精機カンパニー社長) |
| 常務執行役員 | 伊牟田幸裕(鉄道カンパニー社長) |
| 執行役員 | 橋本悟郎(コンプライアンス本部長) |
| 執行役員 | 箱田大典(総務・人事本部長) |
| 執行役員 | 國井重人(住環境カンパニー 副社長(海外事業管理)) |
| 執行役員 | 尼子清夫(技術本部 副本部長 兼 事業企画部長) |
| 執行役員 | 釣泰造(船用カンパニー社長) |
| 執行役員 | 井奥賢介(ものづくり革新推進室長) |
| 執行役員 | 上仲宏二(住環境カンパニー 副社長(国内事業管理)) |
| 執行役員 | Jakob Gilgen (Gilgen Door Systems AG 社長) |
| 執行役員 | 直樹茂(精機カンパニー 津工場長 兼 総務部長) |
| 執行役員 | 小川道雄(ナブテスコサービス(株)代表取締役社長) |
| 執行役員 | 秋田敏明(技術本部 副本部長(技術管理)) |
| 執行役員 | 安藤清(精機カンパニー 開発部長) |

株式状況 (2015年9月30日現在)

| | |
|----------|--------------|
| 発行済株式の総数 | 128,265,799株 |
| 株主数 | 17,213名 |

所有者別株式数比率 (2015年9月30日現在)



大株主 (2015年9月30日現在)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| ① BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC / ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS | 8,843 | 7.12 |
| ② 東海旅客鉄道株式会社 | 5,171 | 4.16 |
| ③ 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 4,352 | 3.51 |
| ④ 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 4,157 | 3.35 |
| ⑤ JP MORGAN CHASE BANK 385632 | 4,098 | 3.30 |
| ⑥ 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ | 3,265 | 2.63 |
| ⑦ THE BANK OF NEW YORK MELLON 140030 | 2,015 | 1.62 |
| ⑧ SAJAP | 1,920 | 1.55 |
| ⑨ CMBL S.A. RE MUTUAL FUNDS | 1,863 | 1.50 |
| ⑩ STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 | 1,642 | 1.32 |

(注) 1. 上記の他、当社が保有する自己株式4,111,047株があります。このうち3,132,000株を2015年12月28日をもって消却する予定です。
2. 持株比率につきましては、自己株式を控除して算出しております。

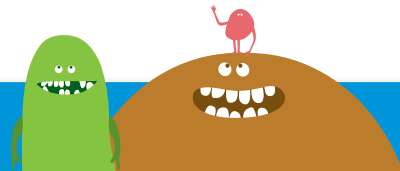
決算期変更に係る配当金のお支払いについて

当社は2015年6月に開催された第12回定時株主総会において、決算期を3月から12月へ変更することを決議いたしました。これにより配当基準日および配当金のお支払いは、右図のように変更となりますのでご了承ください。

| 配当 | 変更前 | 変更後 |
|------------------------------|-------------------|-------------------|
| (2016年度以降) | | |
| 中間配当 | 毎年 9月30日 (12月) | 毎年 6月30日 (9月) |
| 期末配当 | 毎年 3月31日 (6月) | 毎年 12月31日 (3月) |
| (2015年度) ※9ヵ月間の変則決算となっております。 | | |
| 中間配当 | 2015年 9月30日 (12月) | 2015年 9月30日 (12月) |
| 期末配当 | 2016年 3月31日 (6月) | 2015年 12月31日 (3月) |

()内は、配当金のお支払い予定月

株主さまアンケート集計結果のご報告



アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

前回の株主通信に同封しましたアンケートに、1,635名の方(回収率14.03%)からご回答をいただきました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。今後の経営・IR活動に役立ててまいります。ここでアンケートの結果の一部をご報告いたします。

ご回答いただいた株主さまの属性

| | |
|---------------|-------|
| ■ 男性：女性 = 3：1 | |
| ■ ご年齢別 | |
| 1位 70歳以上 | 48.5% |
| 2位 60～69歳以下 | 29.2% |
| 3位 50～59歳以下 | 12.3% |

アンケート集計結果

Q. 当社株式の購入理由

- 1位 将来性
- 2位 事業内容
- 3位 収益性

Q. 今後の保有方針

- 1位 長期保有
- 2位 中期保有
- 3位 未定

Q. 投資する時の参考情報源

- 1位 会社四季報・日経会社情報
- 2位 新聞
- 3位 経済誌・投資情報誌

その他、株主優待制度や工場見学の実施のご要望、当社事業に関するご意見、広告のご感想、そしてたくさんの応援メッセージをいただきました。ありがとうございました。

なお、「ナブテスコのものづくりカルタ」は、厳正な抽選を経て、9月下旬に当選者の皆さまにお送りさせていただきます。

●株主メモ

| | |
|---------|---|
| 事業年度 | 毎年1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日(第13期は9月30日) |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 電話照会先 | 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。 |

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社などにて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。

ナブテスコ 株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番9号

TEL:03-5213-1133 FAX:03-5213-1171

<http://www.nabtesco.com>

UD
FONT



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。